

健康教育実践記録

第1学年	指導者	椎木・西村
題材	「男の子・女の子」	
ねらい	男の子・女の子の体の違いを知り、自分や友達を大切にしていこうとする。	
本時の活動 (実践日 平成27年 9月10日 木曜日 第5校時) <授業参観>		
児童の活動	児童の主な反応・様子	
1. 二枚の絵を見てどちらが女の子でどちらが男の子か話し合う。	○肌の色や、服、髪の毛、靴の色などで男の子、女の子の判断をしている場合も認めた。 ○男の子・女の子の区別を楽しそうに発言していた。 ○外見だけでは判断しにくいことに気付いた。 ○男女の性器の違いに気付いたら服をはずした。	
2. 本時のめあてを確かめる。	男の子と女の子のからだのちがいを かんがえよう。	
3. 性器の役割を知る。 ・性器は排泄だけでなく、大きくなった時にあかちゃんのもととなる大切な役目があることを知る。 ・なかにあるおちんちん …そだてるへや	○「おちんちん」という言葉が出たとき、にぎやかになったが、それぞれの役目を聞く時はずっと真剣に聞いていた。	
4. 大切なところはどうしたらよいかを考える。 ・大事なところ＝プライベートゾーン ・人にむやみに見せない。 ・けったりたたいたりしない。 ・性器は汚れやすいので清潔にする。 ・お風呂での性器の洗い方、トイレの仕方 ・知らない人についていかない。	○プライベートゾーンを隠している絵、お風呂に入っている絵、知らない人に誘われている絵を見ながら、これからどのようにしたらよいかを考えた。 ○本時の学習でわかったことや思ったことなど感想を書き、発表した。	
5. 学習のまとめをする。	男の子も女の子もたいせつなところをまもる。	
指導を終えての考察		
子どもたちに興味関心を持たせるために準備した人形や言葉に反応し、騒いでねらいに近づかないのではと心配したが、実際にはほとんどの子が真剣に考え、質問したり思ったことを発表したりすることができた。感想には、「プライベートゾーンを守ろうと思った」「本当に体は大事なんだなと思った」「人に見せないようにします」など、それぞれよく考え、学び取ったことや思ったことを書いていた。不審者対応についても話をした。これからの子どもたちの行動に、今日の学習が生かされていけばいいと思う。		